

地方債(市債)の借入について

地方債残高を抑制するため、令和3年度に新たな財政規律を策定しました。

これは、事業規模が概ね30億円を超える大規模事業や普通交付税の代替措置である臨時財政対策債等を除く、その他通常債について、「起債総額(借入額)を公債費(元利償還額)以下に抑える」というものです。

予算の示達時点(2月2日現在)において、「その他通常債」の公債費(=借入可能額)は11億2620万円となりました。

項目	臨時財政対策債等 ①	大規模事業債 ②	その他通常債 ③	合計 ①+②+③
令和5年度 公債費 (A)	20億427万円	2713万円	11億2620万円	31億5760万円
令和5年度 地方債借入見込額 (B)	3億7000万円	0	11億1270万円	14億8270万円
令和5年度 公債費-借入見込額 (A-B)	16億3427万円	2713万円	1350万円	16億7490万円

※令和5年度公債費(A)の合計は、一時借入金利子分(500万円)を除いているため、予算額と一致しません。

※臨時財政対策債等には、臨時財政対策債のほか、減収補填債や減税補填債なども含まれます。

※大規模事業債は、「新クリーンセンターの整備」に係る地方債です。

令和5年度の予算編成においては、財政規律を意識した中で予算案をとりまとめた結果、「その他通常債」の発行目標額を1350万円下回ることとなりました。

今後も老朽化が進む公共施設等の改修や更新などの実施には地方債の活用が欠かせない状況ですが、地方債残高や関連指標などの推移を注視しつつ、持続可能な財政運営を図っていきます。

地方債残高の見通し

	臨時財政対策債等	大規模事業債	その他通常債	合計
令和4年度末時点の地方債残高見込	213億3048万円	47億9470万円	85億8750万円	347億1268万円
令和5年度 元金償還見込額	19億7372万円	0	10億7526万円	30億4898万円
令和5年度 地方債借入見込額	3億7000万円	0	11億1270万円	14億8270万円
令和5年度末時点の地方債残高見込	197億2676万円	47億9470万円	86億2494万円	331億4640万円

※令和4年度末時点の地方債残高見込は、12月追加補正予算(一般会計補正予算第11号)まで反映しています。

政策的経費の主な地方債

湖北地区公民館・図書館・白樺文学館の改修	1億3290万円
小学校施設の整備	1億1360万円
金谷排水機場の改修	9210万円
市道の長寿命化改修	7990万円
市役所庁舎の改修	7950万円

※予算における地方債の金額は、その事業における借入限度額であり、実際の借入額は事業の執行状況に基づき減少することがあります。

[用語解説]

地方債(市債)

地方公共団体は、学校や庁舎等を建設する場合など、一時に多額の経費を必要とすることがあります。地方債とは、その資金調達のために負担する債務であって、返済期間が一般会計年度を超えて行われる借入金です。

臨時財政対策債

地方公共団体の財源不足に対処するため、平成13年度から地方交付税の一部の代替措置として、地方財政法第5条の特例により発行される地方債です。この臨時財政対策債の元利償還金相当額については、その全額が後年度普通交付税の基準財政需要額に算入されます。

公債費

地方公共団体が借り入れた地方債の元利償還金及び一時借入金利子の合算額をいいます。